

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 5 月 20 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



蚊が媒介する感染症に注意しましょう！

熱帯や亜熱帯の地域では、**ネッタイシマカ**や**ヒトスジシマカ**という蚊を介して広がる**デング熱**や**ジカ熱**などの感染症が流行しています。

これらの感染症をおこすウイルスは、もともと日本にはありませんが、**海外で感染して日本に帰ってきた人からヒトスジシマカを介して国内で感染が広がる**ことがあります。

デング熱（デングウイルス）

発熱や頭痛、筋肉痛、関節痛などをおこします。
最近、海外で感染して帰国する人の数が増えており、2014 年夏には、日本国内での感染が確認されました。

ジカ熱（ジカウイルス）

ブラジルでの流行が話題となっています。
発熱、頭痛、筋肉痛、結膜炎などをおこすほか、妊婦さんが感染すると赤ちゃんに小頭症^{しょうとうしょう}をおこす可能性があります。



日本にはネッタイシマカはいませんがヒトスジシマカがいます。
5月中旬～10月下旬に活動し、昼間に活発に吸血します。



ヒトスジシマカの写真
国立感染症研究所 衛生昆虫写真館より

蚊に刺されないようにしましょう

蚊の出る季節は、**虫よけスプレー**や**蚊取り線香**などを使って蚊に刺されないようにしましょう。

蚊の多い草むらなどで長時間作業をするときは、**長そで・長ズボン**を着ましょう。

身の回りの蚊を減らしましょう

ヒトスジシマカは、**小さな水たまり**に卵を産み付けます。
身の回りのちょっとした水たまりをなくすことで、蚊を減らすことができます。

雨ざらしのバケツ



植木鉢の受け皿



放置されたペットボトル



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

